（大正八年三月九日第三種郵便物認可）　昭和二年七月十九日　THE IWAKIJIHO　火曜日　第四千六十三號　（一）

十夕八日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町舊屋敷十四
編輯兼發行人　岡田弘藏
福島縣石城郡平町舊屋敷十四
印刷所　磐城時報社印刷所
福島縣石城郡平町舊屋敷十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（毎日發行）休刊日

きのふ總會を終えた
平町の各銀行
今期の成績はどうか
◆……總會當日の模様

平町に於ける主なる銀行會社では昨十七日一齊に昭和二年度上半期營業報告書、貸借對照表、損益計算書承認の件について株主總會を開いたが各社總會の議事、營業成績等の概要左の如し

草野順平氏
取締役就任

◆……磐城銀行

磐城銀行は午前十時同行樓上に開き決算は原案通り承認し支配人草野順平氏を新たに取締役に選任した。同行は同期に於て諸積立金五十一萬三千余圓、各種預金は三百八十六萬二千余圓に激増した。純利益金は八萬四千六十二圓一錢之の處分は、特別積立金に三萬圓、行員退職給與積立金に三千圓、役員賞與金として二千八百圓、株主の利益配當は年七分五厘として二萬八千百廿五圓とし後期に三萬百三十七圓一錢を繰越す事になつた

山崎頭取に
一人一職主義を希望

◆……平銀行

平銀行は十時開會したが同行では同期に於て諸積立金一萬圓、別途積立金一萬圓、七千圓、諸預金三百七十六萬二行員退職給與積立金三千圓、重千圓に增加し又所有有價證券及役賞與金三千圓、株主配當金二諸株式七十二萬二千余圓に增加萬八千二百圓、後期繰越金二萬した。貸出しは四百十四萬七千九千七百七圓に決定、決算其他圓に達したが、利益金は前期繰を承認の後定款變更を議越金を加算して八萬三千九百七監査役新田目善次郎、安島重三圓、更に特筆すべきは財界不況郎、吉田禮次郎氏は滿期の處三にも拘はらず後期繰越金が前期氏共再選と決し新田目善次郎氏より三千圓增額の二萬九千七百が常任監査役に選ばれた。尚は圓でその好績であつた事が窺は

平銀行は東北でも有數の銀行に數へらるゝに至つたが、同氏は平銀行の外多數銀行の重役に任じてゐるが、萬一他會社の成績に思はしくない事が起れば自然その方面に奔走せねばならず、平銀行のためでないから一人一職主義をとり他の重役を全部辭して欲しいと希望をのべて閉會した。

平町の各銀行
合併すべからず

◆……磐越銀行

磐越銀行は九時開會したが同期の一端にも觸れまいといふ株主の固い覺悟を申し合せとして議事錄に登載して欲しいといふ意見が出で、その通り申し合はせをなした。今期の利益金處分左の如し。

二千五百圓法定準備金、二千五百圓特別積立金、四百三十四圓八十四錢重役賞與金、五百圓行員退職給與積立金、八百圓行員賞與金、千五百九十二圓五十錢（年七分五厘）株主配當金、一萬圓後期繰越金　而して今期は驛下銀行問盟決議により前期より八厘の減配を行つたがそれによる剩余金一千圓は有價證券、家具、什器に各々五百圓宛の銷却をなした外尚ほ一萬九千百九十七圓三十八錢を繰越したものである。

小名濱稻枯死
原因全く不明
土壤と水を分析

山田村に稻熱病が發生して農民に不安の念を與へてゐる折柄小名濱町にも同病が發生したので十六日郡から神尾、大山兩技師出張實査した處稻熱病の被害田は約十町歩で其の外病害不明のもの一町歩あり、その箇所は水稻の根部腐敗し莖、葉等黃變し枯死するのであるが原因は過多の鰯煮汁を施したので有機酸の沈澱によりかゝる被害を見たらしいが、正確を期するために土壤並に水を農學試驗場に送り分析を依頼してその上で適當な豫防方法を講ずる事になつた。

好成績
前期よりも

◆……磐城實業銀行

磐城實業銀行では九時半開會したが同行の今期に於ける純利益金は一萬二千七百六十七圓九錢で之を左の如く處分する事に決定したが今期の成績は前期に比べ遙かに好績を示してゐる。

▲法定準備金千五百圓▲株主配當金九百圓▲役員賞與金九百圓▲後期繰越金千三百十六圓▲後期繰越金千五十一圓八十九錢

早くも小名濱で
海水浴客が溺死

當時湯本町字八仙入山炭礦坑夫野村貢方居住栃木縣那須郡大田原町生れ上原源三郎（二一）は十七日會社が公休日であつたゝめ友人折內淺松外一名と共に海水浴をするため小名濱町に至り午後一時頃海岸に於て水泳中逆浪のため六十間程押し流され行衛不明になつたので大騒ぎとなり同町消防組員等駈けつけ捜索した處午後二時頃溺死してゐるのを發見、海底から引あげて久保田醫師を招き應急手當を施したが遂に蘇生せず平署松本警部補出張檢死の上死体を野村貢に引渡した。

▲磐城無盡成績

植田町の小宅嘉久治氏を會長とする磐城無盡商會昭和二年度上半期に於ける純利益金は千六百七十圓五十七錢で之を左の如く處分を承認し終つて滿期となつた監査役根本祐太郎、馬上誠一兩氏は再選した。

▲積立金三千百圓▲役員賞與金九百圓▲株主配當金五千五百三十一圓二十五錢（年七分五厘）▲後期繰越金一萬二千六百三十一圓七十七錢

泥負虫發生

澤渡村にも

澤渡村大字中寺地內稻田に最近泥負虫と稱する害虫が發生し目下の處では字高田地內約一町歩位で稻葉を食ひ枯死の狀態に陷らしめ益々蔓延の兆が見えるので同村では目下驅除法講究中であると。

化學と物理の
學力補充
講習

石城教育部會では例年の如く來る八月一日から十日迄磐城中學校に於て郡內小學校教員の希望により化學及び物理に關し學力補充講習會を開く事になつたが、講習時間は毎日午前八時から七時間、講師は磐城中學校教諭大橋秀冬、阿部正治郎兩氏で受講希望者は七月卅日迄に平第一小學校講習事務所宛申込むべしと

▲磐東銀行總會

植田町磐東銀行では十六日昭和二年度上半期營業決算の株主總會を開いたが、同期の成績は諸貸出金六十九万二千四百六十五圓、諸預り金七十萬九千圓、同期純益金二萬二千百六十三圓で之を左の如く處分した。

▲利益金處分　四百圓準備積立金、三百圓建築積立金、百五十圓職員退職給與積立金、百五十圓職員賞與金、五百圓配當金（年一割）百七十圓五十七錢後期繰越金

植田水電
純益十萬圓

植田水力電氣株式會社では十六日昭和二年度上半期決算の株主總會を開いたが同期純利益金十萬九千百九十七圓三十八錢で、この處分案

▲財産減價銷却五千圓▲社債利子引當八千四百三十七圓五十錢▲諸積立金二萬五千五百六十九圓五十錢▲役員賞與金四千五百圓▲株主配當金六千圓（年一割二分）▲後期繰越金五千六百九十圓三十八錢

を承認し終つて滿期となつた監査役根本祐太郎、馬上誠一兩氏は再選した。

北海道視察に 塩君當選

縣聯合青年團では各郡から一名宛の希望者を募り八月五日福島發八月十三日福島解散の豫定で北海道視察(經費四百圓は石城青年團支出)を行ふ可く各郡の希望者を募つてゐた處石城郡は渡邊村高木善枝、錦村高木武一郎、入遠野村鈴木利繁、川部村園部茂、平町藤沼勝武、平窪村鈴木利一、小川村吉田榮男、飯野村塩演瑛、小名濱町松本祐夫、內郷村柴田大助、好間村大河原茂平、永戸村柴崎壽衛、草野村新妻金五郎の十三名の希望者があつたので十六日磐城中學校に於て唐土磐中校長、大森勇副團長、西山直三郎、代議員馬上豊、三森虎雄外二名立會の上抽籤を行ひ結局飯野村塩演瑛君に決定した。

氷配達夫
大至急募集
―(給料面談)―
平町古鍛冶町
茗荷屋
電話三一六番

武道土用稽古

平警察署では七月二十二日から四日まで二週間毎日午後七時から九時迄まで平警察署演武場で武道の土用稽古を行ふ筈で一般の參加者を歡迎すると。

長橋青年總會

平町長橋町青年分團では十七日尼子亭に總會を開き優良團員として酒井賢司、志賀直政兩氏を川崎分團長が表彰した。

東京株式清算取引高低表

(東株ハ當中先限、他株ハ先限ノミ)

◎第一部

銘柄	寄付	銘柄	止
東株(當)	―		―
(中)	―		―
(先)	―		―
同新(當)	―		―
(中)	―		―
(先)	―		―
郵船	―	同新	―
同新	―	二新	―
富紡	―	鹽糖	五〇八
同新	―	同新	―
鐘紡	二三三一	新高	五七四
同新	一二五〇	同新	一五八
日糖	八七一	濱取	三九九

◎第二部

銘柄	寄付	銘柄	止
麥酒	―	麥鑛	―
同新	六一九	熱帶	三四一
白煉	二五〇	磐セ	四四九
日セ	―	久原	四八〇
淺野	―	同新	[illegible]四六
同新	―	日石	四八三

◎第三部

銘柄	寄付	銘柄	止
自動	三四六	樺太	―
同新	―	日魯	―
富紙	―	同新	―
同新	―	日粉	―

短期前場

	寄付	高値	安値	引値
鹽水	五二一	五二二	五一四	五一四
久原	四九三	四九六	四六九	四六九
新淺	三二三	三二三	三〇四	三〇六
日石	四九七	四九七	四七七	四七七
新鐘	一二三九	一二三九	一二二六	一二二六
新東	一三八七	一三八九	一三六九	一三七一

東京商品取引

(七月十八日前場)

◎期米

	六限	七限	八限
一節	三五八六	三六四六	三六三〇
二節	三五七一	三六四四	三六三〇
三節	三五八〇	三六四四	三六三一
四節	―	―	三六三四
五節	―	―	三六三一
六節	―	―	三六三一
七節	三五八一	三六四二	三六二九
八節	三五七七	三六三九	三六二四

◎綿糸

	一節	二節	三節	四節
七限	二三六四	―	二三七一	二三六九
八限	二三九一	―	二三八五	二三八三
九限	二三一〇	―	二三一四	二三一三
十限	二三四九	―	二三四八	二三四九
十一限	二三六〇	―	二三六〇	二三六一
十二限	二三七〇	―	二三七〇	二三七一
一限	二三九九	二三九六	二三九七	二三九五

◎生糸

	一節	二節	三節	四節
七限	一三八七	一三九一	一三九一	一三九一
八限	一三九〇	―	―	―
九限	一三九二	一三九五	一三九三	一三九五
十限	一三九四	一三九八	一三九六	一三九七
十一限	一三九九	一三九九	一四〇〇	一三九九

三井の特價大賣出し

奉仕的實現(十六日より三日間)

◇モス着尺 大特價 金三圓九十錢
◇足袋 (白キャラコ 金二十錢 / 朱子 金三十五錢)
◇壹圓均一品 (中形、しぼり 木綿縞、染かすり)
◆其他數々堀出しもの澤山
◆海水浴着、海水浴帽子其他種々
▼最も流行品豐富に取揃へ申候
▼新館階上陳列縱覽御隨意

三井吳服店

營業科目
◈親切第一
電氣機械器具
電線類絶縁料
通信機械器具
其他器具修繕
モートル トランス (日立 芝浦 製)
◈確實敏捷
平町南町磐越銀行向ひ
三瓶電機商店
電話呼出七三八番

常盤
松ヶ岡公園は
深緑に變る
緑滴るばかりの
公園池畔
初夏の情景
をた慕ひあれ
松ヶ岡公園池畔 電話二二六番

印刷物は加納活版所

第六拾參期 決算報告

貸借對照表

資産之部

拂込未濟資本金	三五二、五〇〇円〇〇〇
諸貸立金	六九二、四九五、九九〇
割引手形	四二一、〇三〇、〇〇〇
荷爲替手形	四五、九二三、八九〇
他店へ貸	一五、四七八、〇二〇
奥羽銀行同盟會基本金	三五〇、〇〇〇
諸有價證券	一一六、八四一、二五〇
營業用土地建物什器	二〇、四二一、三〇〇
所有動産不動産	一三、七二一、六八〇
預ケ金及現金	八八、〇三〇、四六〇
合計	一、三九四、八〇二、五九〇

負債之部

資本金	五〇〇、〇〇〇円〇〇〇
諸積立金	六三、六〇〇、〇〇〇
諸預り金	六四六、六四一、〇九〇
他店ヨリ借	一三、八六一、六七〇
借入金	七五、〇〇〇、〇〇〇
當座預金借越	六〇、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金	五〇、六一〇
未拂利息及未經過割引料	一三、〇三一、二九〇
第二種所得稅及資本利子稅	四五四、九一〇
當期純益金	三一、一六三、〇二〇
合計	一、三九四、八〇二、五九〇

利益金處分

一、當期純益金	三一、一六三、〇二〇
諸積立金	二一、一〇〇、〇〇〇
役員賞與金	九〇〇、〇〇〇
株主配當金(年七分五厘)	五、五三一、二五〇
後期繰越金	三、六三一、七七〇

右之通リニ候也

昭和二年七月拾六日

福島縣植田町

株式會社 磐東銀行

取締役頭取 江尻博孝
專務取締役 金成通
取締役 金成欽次
取締役 安島重三郎
取締役 金成金三
監査役 岡山保治郎
監査役 古川傳一
監査役 山野邊文雄

第十五期 營業報告

(昭和二年上半期)

貸借對照表

資産之部

未拂込資本金	三、七五〇、〇〇〇・〇〇〇
線路屋內工作物	四八四、五八九・三五〇
機械器具貯藏品及土地建物什器	八〇、三五四・一一〇
有價證券	一六、七〇〇・〇〇〇
假拂金	六七、九四七・九八〇
受取手形及未收入金	二七、六三一・一八〇
發電所勘定	一、四〇〇、一五一・三一〇
變電所勘定	一〇八、三七七・七八〇
預ケ金及現金	一九四、七一二・二五〇
合計	六、一二〇、四五三・八六〇

負債之部

資本金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	八九、一二〇・五〇〇
假受金	七、一六六・五六〇
社債及借入金	九五〇、〇〇〇・〇〇〇
支拂手形及未拂金	三四、六三八・四三〇
未拂配當金	三三〇・九九〇
當期利益金	一〇九、一九七・三八〇
合計	六、一二〇、四五三・八六〇

利益金處分

一、當期利益金	一〇九、一九七・三八〇
內	
財産減價銷却	五、〇〇〇・〇〇〇
社債利子引當	八、四三七・五〇〇
諸積立金	二五、五六九・五〇〇
役員賞與金	四、五〇〇・〇〇〇
株主配當金(年一割二分)	六〇、〇〇〇・〇〇〇
後期繰越金	五、六九〇・三八〇

昭和二年六月三十日

植田 水力電氣株式會社

取締役社長 金成通
取締役 安島重三郎
取締役 白井博之
取締役 高岡唯一郎
取締役 小林臧次
取締役 古川傳一
監査役 根本祐太郎
監査役 馬上誠一

追而監査役任期滿了ノ處改選ノ結果根本祐太郎、馬上誠一ノ兩氏再選重任セリ

第十二期 決算公告

貸借對照表

資産之部

掛金担保貸金	九、〇四三・〇五〇
不動産擔保貸金	四、八四七・三六〇
未收無盡掛金	六一、九一〇・五五〇
所有不動産	四、九九一・八二〇
有價證券	二、八九五・二〇〇
假拂金	一、一九五・二二〇
無盡集會所加入金	三七〇・五〇〇
營業用什器	二、九二一・六一〇
銀行預ケ金	五、八八五・九四〇
振替貯金	八九三・三三〇
金銀	一、七六八・〇四〇
合計	九六、三八九・六二〇

負債之部

無盡給付資金	五四、八四〇・七一〇
準備積立金	二、一〇〇・〇〇〇
建築積立金	二、二〇〇・〇〇〇
社員退職給與基金	三〇〇・〇〇〇
資本金	一〇、〇〇〇・〇〇〇
社員保證積立金	四一九・三二〇
未拂無盡給付金	一〇、三三〇・〇〇〇
未拂入札差金	五、二四七・三三〇
未拂解約返戻金	六、二二四・〇五〇
假受金	一、五〇四・五五〇
日掛假受金	一、六六三・一七〇
當期純益金	一、六七〇・五七〇
合計	九六、三八九・六二〇

利益金處分

金四百圓 準備積立金
金三百圓 建築積立金
金百五十圓 社員退職給與基金
金百五十圓 社員賞與金
金五百圓(年一割) 配當金
金百七十圓五十七錢 後期繰越金

昭和二年六月卅日

本社 福島縣植田町本丁
支社 福島縣平町平町

磐城無盡商會

會長 小宅嘉久治
相談役 大平菊次郎
同 小宅嘉惠藏
顧問 古川傳一
同 端山正男
監事 草野順平

當期末現在無盡給付契約高 一、五六七、九〇六圓
當期末滿會無盡完了高 七四九、〇四八圓
合計 二、三一六、九五四圓